

## 【療育支援専門部会報告】

## 療育支援専門部会について

## 【目的】

- ・子どものライフステージを通じた一貫した支援
- ・障害特性による子どもや家族の抱える課題やニーズに対して総合的な支援
- ・できるだけ子どもやその家族にとって身近な地域での支援

以上、3つの視点をもち、重層的な支援体制や障害のある子どものための支援策などを具体化させ、新事業や旧事業の再編成をはじめとした、県内の仕組みづくりに必要となる施策などを検討し、支援体制を推進していく。

## 【開催経過】

療育支援専門部会 委員 19名

「第1回」 6月 2日(火)／「第2回」 7月 2日(木)／「第3回」 7月30日(木)

「第4回」 8月27日(木)／「第5回」 9月24日(木)／「第6回」10月22日(木)

以上6回の専門部会を開催。平成21年度においては、第11回まで開催予定。

## 【協議事項】

- ① 今後（平成21年度～23年度）の専門部会の進め方・計画「第1回」
- ② 療育支援コーディネーター配置事業（モデル事業案含む）「第1回～第4回」
- ③ ライフサポートファイル開発・普及（モデル事業案含む）「第1回～第4回」
- ④ 療育支援コーディネーターに係る現状報告「第2回」
- ⑤ ライフサポートファイルに係る現状報告「第3回」
- ⑥ 保育所・幼稚園・発達障害者支援センターにおける療育支援の現状や課題報告「第5回～第6回」
- ⑦ 保育所や幼稚園における支援の向上について「第5回～継続中」

## ◎ ライフステージを通じた支援体制事業について

在宅の重症心身障害児、知的障害児、身体障害児や発達障害児等が、ライフステージを通じて一貫した支援が継続されるように、ひとりに対しての一貫した管理体制を構築する「療育支援コーディネーター」の配置。

また、支援の担い手が変わりやすい移行期にも、一貫した支援が継続されるよう、その家族と関係機関が共に、障害児等への支援に関わるための情報伝達ツールとしての「ライフサポートファイル」の開発・普及。

以上2つの支援を全県に普及させるため、モデル事業の実施方法等について協議を行った。

## ◎ 保育所や幼稚園における支援の現状及び向上について

保育所等職員における気づきの能力や支援機関へつなぐ技術の向上させる体制を整備するため、専門職等で組織した指導チームによる巡回支援の実施等について整理を行い、早期発見・早期療育に向けた課題や、保護者への支援に関する課題などに対しての支援について協議を行っている。